

# 平成20年度事業報告書

## 実施事業の概要

平成20年度は、次の事業を実施した。

### 1. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を内容とする「心と社会」を次のとおり発行した。  
なお133号と134号は精神保健思想の啓発普及事業として(財)JK Aより競輪公益資金の補助を得て実施した。

132号(平成20年6月20日発行)	146頁	2,500部
特集 メンタルヘルスの集い(第22回日本精神保健会議) 精神科病院のこれからを考える		
133号(平成20年9月25日発行)	128頁	2,500部
特集 第53回精神保健シンポジウム(岐阜) 親の思いをどう受け止めるべきか		
134号(平成20年12月15日発行)	108頁	2,500部
特集 司法精神医学の新展開		
135号(平成21年3月23日発行)	120頁	2,500部
特集 第54回精神保健シンポジウム(松本) これからの精神保健福祉を考える		

### 2. 精神保健福祉関係冊子の出版

職場のメンタルヘルスに関連した問題を取り上げる「こころの健康シリーズ」を昨年度のNo.1~No.4に引き続きNo.5No.8を発行した。

5「国家公務員のメンタルヘルス」	(平成20年6月発行)
中部学院大学大学院教授 吉川武彦 著	8頁 3,000部
6「地方公務員のメンタルヘルス」	(平成20年9月発行)
梅垣医院 梅垣和彦 著	8頁 3,000部
7「IT企業とメンタルヘルス」	(平成20年12月発行)
伊藤忠テクノソリューションズ(株) 森田美保子 著	8頁 3,000部
8「製造業におけるメンタルヘルス対策」	(平成21年3月発行)
(株)日立製作所 神宮純代 著	8頁 3,000部

### 3. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の精神保健関係団体と共催で、地域が当面する精神保健に関する課題をテーマにシンポジウムを開催しているが、本年度は下記のとおり実施した。

#### 第53回精神保健シンポジウム（岐阜市）

日 時：平成20年5月31日 9：00～16：00

場 所：県民文化ホール未来館長良川ホール

共 催：中部学院大学・中部学院大学短期大学

テーマ：親の思いをどう受け止めるべきか

内 容：特別講演「教育相談と学校カウンセリング」

小山 徹（岐阜大学教職大学院教授）

招待講演「特別支援教育と精神保健福祉」

鈴木陽子（元早稲田大学教授）

基調講演「軽度発達障害児にどのように接するか」

別府悦子（中部学院大学教授）

シンポジウム「親の思いをどう受け止めるべきか」

安立富昭（一宮東心理相談室）

板倉靖子（小学校教員）

岡田宏子（アスペ・エルデの会）

原 武志（岐阜県教育委員会）

参加者：約180名

#### 第54回精神保健シンポジウム（松本市）

日 時：平成20年11月24日 13：00～16：00

場 所：松本文化会館中ホール

共 催：信州大学医学部精神医学教室 長野県精神保健福祉センター

長野県精神科病院協会

テーマ：これからの精神保健福祉について考える

内 容：シンポジウム

「発達障害者支援の施策と今後」

日詰正文（厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部）

「退院可能精神障害者の退院支援と地域生活支援について」

小泉典章（長野県精神保健福祉センター）

「認知症高齢者と寄り添うために」

大西直樹（JA長野厚生連佐久総合病院美里分院）

総合討論

司会 渡辺啓一（長野県精神科病院協会）

天野直二（信州大学医学部精神医学教室）

参加者：約150名

#### 4. メンタルヘルスの集い(第23回日本精神保健会議)の開催

「病院から地域へ」という我が国の精神保健福祉政策の転換に大きな障壁となっている精神障がい者に対する地域住民の差別や偏見について、この問題を主題とした映画「ふるさとをください」を鑑賞した後、精神保健福祉関係者、当事者、家族、さらに一般市民の参加も仰いでこの問題について論じた。本フォーラムは、精神保健思想の啓発普及事業として(財)JK Aより競輪公益資金の補助を得て実施した。

日 時：平成21年3月7日 10:00～16:00

場 所：有楽町朝日ホール

テーマ：あなたの中に、そして私の中にも

～精神障がい者への差別や偏見を考える～

内 容：映画鑑賞

「ふるさとをください」

(脚本：ジェームス三木 監督：富永憲治 主演：大路恵美)

：フォーラムに向けて

仙波恒雄(日本精神衛生会理事)

：フォーラム

「あなたの中に、そして私の中にも

～精神障がい者への差別や偏見を考える～」

私からひとこと

武末顕一郎(全国精神障害者団体連合会事務局員)

野村忠良(東京都精神障害者家族会連合会会長)

神澤 都(パイ焼き窯サポーター)

フロアもいっしょに

会場参加者を交えた討論

まとめのシンポジウム

新福尚隆(西南学院大学教授)

谷野亮爾(日本精神科病院協会副会長)

増田一世(やどかりの里常務理事)

生井久美子(朝日新聞地域報道グループ記者)

コーディネーター

松本すみ子(東京国際大学准教授)

藤井克徳(きょうされん常務理事)

総合司会

上別府圭子(東京大学大学院准教授)

参加者 420名

- 5 . ホームページの内容を充実し、精神保健に関する情報を豊富にして、社会の啓発、精神障害への偏見是正に資した。
- 6 . 日本精神保健連盟の一員として国内の精神保健福祉諸団体と協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄にて世界の精神保健関連情報を紹介した。さらにWFMH日本支部と情報交換を行った。
- 7 . 会員名簿の発行  
会員の転居、勤務先の異動、また市町村合併などによる住所変更などを訂正するため平成20年12月に会員名簿を発行した。個人情報保護の観点から会員の同意を得て掲載している。

以 上